

じゅんさい池みらいプラン 今後の工程について(案)

R4 (2022)

R5 (2023)

~

R12 (2030)

(上段：実施項目、下段：実施主体)
(○：中心となる実施主体、△：サポートする主体)

保元や交流活動にかかわる人を増やそう	環境保全活動等のネットワークづくり、運営体制の構築	ネットワークづくり → 運営体制の検討 → 新体制の試行 → 新体制の稼働	○:行政 △:地域・学校・企業・有識者	○:新たな体制 △:市民(ボランティア)
	関わる人や団体の掘り起こしと後継者の育成	・ボランティア等の募集 ・活動のPR	○:地域 △:行政・企業	○:新たな体制 △:市民(ボランティア)
池と周囲の自然環境を守ろう	西池の環境保全活動	実施	○:地域 △:行政・市民(ボランティア)・企業	○:新たな体制 △:市民(ボランティア)
	東池の状況観察	状況観察	○:行政 △:地域	○:新たな体制
	園芸スライムや堆積物対策の研究	他事例の情報収集・有識者等ヒアリングなど	○:地域 △:行政・有識者・企業	○:新たな体制
	自然環境保全や公園利用マナー等の啓発	フォーラム等の実施	○:行政 △:地域・有識者	○:行政・学校 △:新たな体制・地域・市民(ボランティア)
地域の人の愛着を育てよう	価値・魅力・課題の周知、啓発	・フォーラム等の実施 ・動画の製作 ・ガイドブック、リーフレットの活用 ・広報紙、HP等でのPR ・学校での環境学習・地域学習	動画の活用 ガイドブック、リーフレットの活用 継続的にPR 継続的な環境学習・地域学習	○:行政 △:地域・学校・有識者・新たな体制
		・まち歩きの実施 ・環境保全活動の実施 ・学校での環境学習・地域学習	様々な取り組みを検討 地域活動のサポート 継続的な環境学習・地域学習	○:行政・地域・学校・新たな体制 △:市民(ボランティア)・有識者
じゅんさい池の価値を学び広めよう	じゅんさい池を体感できる取り組み	・フォーラム等の実施 ・動画の製作 ・シダレザクラの状況観察	地域や関係者 とともに検討を継続	○:行政・地域・新たな体制 △:市民(ボランティア)・学校・有識者・企業
全身で親しめる空間にしよう		・フォーラム等の実施 ・動画の製作 ・シダレザクラの状況観察	地域や関係者 とともに検討を継続	○:行政・地域・新たな体制 △:市民(ボランティア)・学校・有識者・企業

“新たな体制”は、地域、学校、企業、有識者、行政など様々な主体がゆるやかに連携しながら、担い手確保に関することや環境保全活動に関わることに主に担う体制をイメージしています。

“新たな体制”の中で連携して行う取り組みもあると考えられますが、行政、地域、学校などそれぞれが行うものもあると思うので、“新たな体制”と併記しています。

※ 定期的に取り組みの進捗状況の点検と改善を行う。
 ※ R5以降の実施項目は、じゅんさい池環境やそれぞれの取り組みの進捗状況、区の予算編成の状況などにより見直しや変更が必要な場合がある。
 ※ R4は予算要求時の取り組みをベースに記載。R5以降は、プランP14の分担を基本としつつ、具体的な取り組み内容により適切な主体が分担して行う。